

## 言語活動の充実を図る国語科指導の実際②

－「読むこと」と「書くこと」の関連を図る授業の工夫－

思考力・判断力・表現力の育成という視点から、「読むこと」と「書くこと」を関連付けた学習指導をどのように計画・実践していくかが重要になる。特に、「読むこと」の学習したことや、自分の考えや意見をもったことなどを、どのように「書くこと」につなげていくかを十分検討する必要がある。

以下は、「読むこと」と「書くこと」の関連を図った学習指導の実践例である。

【実践例】指宿市立川尻小学校 上野大輔教諭の実践を基に作成

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう（第6学年）

2 教材名 「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」

3 言語活動

【書くこと】 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。

【読むこと】 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。

4 単元の指導計画（14時間扱い）

過程	時間	主な学習活動		
つかむ・見通す	2	1 「平和」について、知っていることや感じていることを自由に話し合う。	○ 単元全体の学習課題を設定し、子どもたちに言語活動のねらいを明確にし、学習意欲をもたせる。	
		2 学習課題を設定し、学習計画を立てる。		○ 子どもたちが、どのような流れで、自分の意見を書いていくのかという見通しがもてるように工夫する。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">平和についての自分の考えや意見を新聞に投稿しよう。</div> 3 全文を読み、学習の見通しを立てる。 (1) 教材文を読み、意見文の特徴を知る。 (2) 意見文を書くために参考資料を読む。 (3) 学習したことを基に意見文を書く。		
調べる	4	4 教材文を読み、意見文の特徴や書き方について学習する。 (1) 比べ読みを行い、教材文の特徴をつかむ。 (2) 筆者の主張や考えが書かれている段落を見つけ、筆者の考えや意見をまとめる。 (3) 話題提示や事実の挙げ方の記述の工夫を理解する。	○ 教材文を読む視点を明確にし、言語活動とどのようにつながっていくのかを子どもたちが意識しながら学習できるように工夫する。	
		5 教材文を振り返り、意見文の書き方をまとめる。 6 意見文を書くために必要な資料を読む。 7 文章の構成を考え、意見文を書く。	○ 読む活動を書く活動につなぐために、読む活動で学んだことを整理する時間を設定する。 ○ 意見文を書くために必要な資料を読んで意見文を書き、新聞に投稿するという言語活動を行うことで、学習したことを日常生活の中で活用していく力を身に付けさせる。	
深める	6			
生振り返る	2	8 交流会を開き、自分の文章を見直す。		
		9 単元全体の振り返り、今回学習した意見文の書き方が、他教科や実生活に生かせる場面を話し合う。		

